

## 平成25年度 コウノトリ野生復帰学術研究奨励補助制度概要



### 1. 補助対象者

- ・大学に在籍する学生または大学院生（グループによる参加も可能）
- ・平成26年2月28日（金）までに実績報告書の提出が可能な方

### 2. 補助対象研究

卒業論文や研究論文に関するもの。

#### (1) 一般研究奨励補助

コウノトリの野生復帰を基本テーマとした豊岡の自然環境・社会環境に関する研究。

#### (2) 限定テーマ研究奨励補助

平成24年7月、ラムサール条約に「円山川下流域・周辺水田」が湿地登録されたことから、当該エリア及び本市全域における特徴的な課題として以下のテーマを特別枠で募集する。

ア 持続可能な湿地の管理方法

イ 持続可能な有害鳥獣対策

ウ 湿地の賢明な利用（CEPA\* 活動の具体的手法）

※『CEPA』とは交流・教育・参加・啓発。（『Communication（交流）, Education（教育）, Participation（参加）and Awareness（普及啓発）』の略称

### 3. 補助金額

#### (1) 補助金額

予算範囲内で

個人：1万円～10万円（限定テーマは上限15万）

グループ：1万円～20万円（限定テーマは上限30万）

（※ただし、補助対象研究は、1補助対象者につき1件とします。）

#### (2) 補助対象経費

ア 豊岡までの交通費、市内移動にかかる交通費および宿泊費（実費）の2分の1

イ 研究にかかる事務経費の2分の1。ただし、上限額は次のとおり。

個人：1万円（限定テーマは上限1万5千円）

グループ：2万円（限定テーマは上限3万円）

ウ その他研究活動に要する経費で市長が認めるもの

補助金対象となる研究	対象	補助金額（上限）	
			うち事務的経費
一般研究奨励補助 コウノトリ野生復帰を基本テーマとした 豊岡の自然環境・社会環境に関する研究	個人	10万円	1万円
	グループ	20万円	2万円
限定テーマ研究奨励補助 ア 持続可能な湿地の管理方法 イ 持続可能な有害鳥獣対策 ウ 湿地の賢明な利用 (CEPA活動の具体的手法)	個人	15万円	1万5千円
	グループ	30万円	3万円

※ 交付決定額の範囲内で、一部前払いが可能です。

#### 4. 応募の方法

交付申請書（別紙様式第1号）に次の書類を添付

- (1) 補助研究の実施計画書
- (2) 補助研究の収支予算書
- (3) 大学生等の略歴
- (4) 在学証明書または学生証のコピー
- (5) その他市長が必要とする書類

#### 5. 募集期間

平成25年4月1日（月）から5月15日（水）まで

#### 6. その他

- ・ホームステイ先や生活用具などに関するサポートを行っています。
- ・補助金の交付を受けた研究については、豊岡市が実施する研究成果発表会等で発表していただく場合があります。

#### ■募集から研究成果発表までの流れ

時期	項目	内容
4月1日	募集開始	補助金交付申請書、補助研究の実施計画書等の必要書類を提出。
5月15日	応募締切り	
5月中	補助対象者の決定	審査会により研究テーマを審査し補助対象者を決定。
	補助金交付決定通知 (一部前払い可)	補助対象者に交付決定を通知。
	～研究活動～	
2月28日 までに	研究成果の報告	実績報告書と、その時点で得られた研究成果をまとめた論文や報告書を提出。
3月末まで に	補助金の交付手続き (精算)	実績報告書を検討した結果、補助の目的に適合すると認められるとき、経費を確認の上、補助金の額を確定し、補助金を交付。
	研究成果の公表	市広報、インターネット等で研究成果を公表。
	研究成果発表会	豊岡市が実施する研究発表会等で発表。

※今までの研究報告は豊岡市のHP (<http://www.city.toyooka.lg.jp/>) よりご覧いただけます。  
豊岡市HPのTOPから→『コウノトリと育む』→『野生復帰プロジェクト』→『学術情報（知の集積）』とお進みください。